

## 登米市（宮城県登米市）

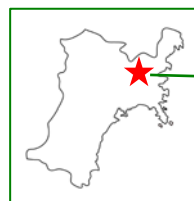
R5補正  
R6当初

06

## 背景・課題

登米市は、人と環境に優しい環境保全型農業への先駆けた取組による環境保全米の発祥の地であり、全国でも有数の産地として、その地位を確立している。

有機農業については、水稻を中心として県内1位、全国でも8位の取組面積（令和5年度環境保全型農業直接支払交付金実績）を誇っている。これまでの農業者等の取組により、生産から流通、消費まで一定の自立した体系が築かれているものの、近年、労働力不足により取組を断念する農業者もあり、次世代の人材確保対策と労力の軽減化対策等が急務となっている。



登米市

## 構 成 員

登米市、宮城県、みやぎ登米農業協同組合、新みやぎ農業協同組合、有機農業取組農業者、道の駅連絡協議会、観光物産協会 等

## 品 目

水稻

## 成果目標

- 有機農業実施計画の策定
- 有機農業取組面積 149ha (R5) ⇒ 200ha (R11)
- 有機農業取組農業者の拡大 43人 (R5) ⇒ 50人 (R11)
- 学校給食への有機農産物の活用 2回/年

## 主な取組内容

- 有機農業実施計画策定に向けた検討会の実施
- 有機農業推進のための試行的な取組の実施（生産：有機JAS 認証等取得支援、先進地事例調査、消費：学校給食への有機農産物の活用促進など）



登米市有機農業推進協議会による有機農業実施計画策定に向けた検討



先進事例調査（秋田県大潟村・岩手県一関市）



市内外イベントへの出展による有機農産物のPR



有機農産物の学校給食への提供

## 普及に向けた取組

今回の「有機農業実施計画」及び「オーガニックビレッジ宣言」を契機とし、農業者から消費者まで有機農業に対する理解が幅広く進み、環境保全型農業と有機農業がバランスよく共存し、生産力の向上と持続性が両立した登米市農業の発展を目指す。

問い合わせ先

登米市産業経済部産業総務課  
TEL：0220-34-2716